

実施報告

令和2年度 学校・図書館・ボランティアを結ぶ実践発表会

【日時・会場】

○第1会場 令和2年10月27日(火) 13:00~16:30 滋賀県大津合同庁舎

○第2会場 令和2年11月18日(水) 13:00~16:30

滋賀県立男女共同参画センター“G-NET しが”

参加者 計51名

実践報告

【内容】

○第1会場「大津市立瀬田南小学校における学校図書館リニューアル」

報告：川島 有美子 氏 (大津市立瀬田南小学校 教諭)

○第2会場「甲賀市立信楽小学校における学校図書館リニューアル」

報告：瀬古 友梨恵 氏 (甲賀市立信楽小学校 教諭)

【報告】

滋賀県教育委員会の「学校図書館活用支援員」派遣を活用した、学校図書館リニューアルについてご報告いただきました。リニューアルに学校全体で取り組まれた様子や、その成果についてお話しいただきました。

【参加者の感想から(抜粋)】

- ・教職員全員でお取り組みされたことに、とても価値があったと感じました。教員の理解が深まることで、子どもたちにもよい学びができると思いました。
- ・学校に図書館利用の年間計画を作成する必要性、リニューアル後の活用が大切だと感じた。

講演

【内容】

『第三の場』としての学校図書館

～多様な「学び」「文化」「つながり」の共創～

講師：久野 和子 氏

(神戸女子大学文学部教育学科 准教授)

【講演】

「場としての図書館」、アメリカの社会学者オルデンバーグが提唱した「第三の場」といった研究を踏まえて、「第三の場」として学校図書館がもたらすものについて、海外・国内の事例を交えながら、ご講演いただきました。



学校図書館の可能性や、そのために必要な基盤としての「人」の存在など、これからの学校図書館のあり方を考える上で貴重なお話を伺うことができました。

【受講者の感想から（抜粋）】

- 子どもの居場所づくりとして、学校の中に居心地のいい図書館があることで、救われる子どもがたくさんいると思います。居場所づくり、環境づくりが社会関係資本を豊かにするので、様々な場面にも活かさないか考えていきたいです。
- 図書館のイメージが固定化されすぎていることに気付かされた。もっと自由で楽しい場所になるように提案していきたい。
- 理論的なお話を整理して解説して下さりわかりやすかった。多数の例を写真で示していただき、多くのヒントをいただいた。

情報交換・意見交流

最後に、グループにわかれて情報交換・意見交流を行いました。参加者の皆さんが普段感じておられることや学校図書館の運営における連携体制、読書活動の事例についてなど、それぞれの立場で日頃感じていることについて活発に情報交換・意見交流をしていただきました。「同じ立場、異なる立場の方と交流で貴重な時間になりました」、「コロナ禍での各地域、各図書館、各学校の取り組みがわかり参考になった」等の声がありました。

